

# 古川氏の退職にあたり

## 有縁の方よりメッセージが届きました。

元輪番  
武井 弥弘



思い起こせばとても懐かしい。一九九九年二月三重教務所長兼桑名別院輪番として赴任したのが、古川氏との出会いである。所長も輪番も初めてのことで、特に別院については何もわからない小生は、古川氏のご指導の下に輪番の仕事が始まった。

古川氏のキャラクターとして感心したのは、人との「コミュニケーションの上手さである。別院に來られる参拝者やお講の方々とのやり取り、そして定期的に訪れる住所不定者や仮釈放の人への対応も実にスムーズだった。

当時、前任の鈴木宏雄所長・輪番がすでに蓮如上人五百回御遠忌に向けて、懇志勧募や記念事業の整備計画に着手されていて、それを引き継いで、教区・別院の蓮如上人御遠忌法要を完遂するのが課せられた仕事であった。そのような中、古川氏と毎朝の晨朝やお紐解きなどを勤めた。が、これが問題だった。古川氏のお勤めは正に「古川節」で、音程も違うし節（洵）も独特で、これに合わせるのに大変苦労したことは懐かしい思い出である。

40年という長きに亘って桑名別院を支えていただいたことは本当に尊いことだと頭が下がる。願わくば、再会して杯を傾けながら昔話に花を咲かせたいものである。本当にお疲れ様でした。

（九州大谷短期大学 副学長・事務局長）



蓮如上人五百回記念中南勢講演会（2001年）

時々杯を交わしたが、年齢も近いということもあって、楽しく飲ませていただいた。

元列座  
長崎 慶磨

古川君、長い間お疲れ様でした。着任してから42年にもなるんですね。着任したその日に起こした武勇伝ともいべき出来事を、君は覚えていますか。それから思い出すのは、君と藤井悟さんと私の3人でよく卓球をやったこと、その後の飲食、カラオケの楽しかったことを。私事では、当山の蓮如上人五百

回御遠忌、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌、前々住職の葬儀、その他にも何度となくお手伝いをお願いした事、貴君には随分お世話になりました。本当に有難うございました。  
自坊教化に専念されるのと、これまで培ってきた経験のもと、自坊は勿論のこと、宗門護持に愈々尽力されることを心より願っております。お酒は程々に、頑張れー古川 良心様 合掌  
（長島組 善明寺 前住職）

元列座  
飯田 正順

古川良心さん、桑名別院に長らく奉職され、お疲れさまでした。この40年のあいだ、仏さまに日々絶え間なくお給仕され、ご縁のあるたくさんの方々おひとりおひとりの関わりを大切になされ、お参りの人々の法座の場を調えられ、自ら率先して間法されたお姿を思い出します。また、列座として後学の志のある人々を導いていただきました。誠に苦勞様でした。

（長島組 光榮寺 住職）



桑名別院 蓮如上人五百回御遠忌 記念法要（2001.04.11）



古川さんといえば、よく食べよく飲み、豊かな音量をお持ちの方です。食べる量も多かったですし、某力しー店の一番辛い10辛も難なく食べられていました。お酒も強く、遅くまで飲んでいても、晨朝には欠かさず出仕し、いつもと変わらぬ大きな声を出しておられました。その音量は眠っている時も変わらず、地響きと間違えるほどでした。そんな古川さんにも若いころ一度だけ、出仕できなかつたことがあつたそうです。

お酒を飲みに出かけた翌朝、見知らぬ場所で目を覚ました。隣には美女が・・・いながつた。一安心。だが、明らかに自分の部屋とは違つ。殺風景な白い壁に、鉄格子。何があつたのか。昨夜の記憶は戻らない。恐る恐る、どうして自分がここに来たかを近くの係官に尋ねた。「やっばり、覚えてないですかー」に続く説明では、発見時、既に酩酊？状態で、意味の不明なことを話され、いのちの危険もあるのここに居ます。とおっしゃられたとのこと。

こうして定年退職の日を迎えられるのも、あの日身の安全を確保してくださつたお陰かもしれせん。



研修旅行にて踊る、古川氏 (2001.06.17)

退職にあたり、私からも一言、「おまわりさん、ありがとございまして。古川さん、本当にご苦労様でした。」

(南勢一組 常徳寺 住職)



私が古川さんと桑名別院で仕事を共にさせていただくことになりましたのは蓮如上人五百回御遠忌法要のお手伝いからでございます。

桑名別院の尊い伝統を重んじられ先輩方から受け継がれた事を黙々と進められる方でした。お話しする中、別院へは勉強をさせて貰いに来つてます。」

お聞きして私はとても恥ずかしくなりまして。

年中本堂に美しい仏華をお一人で生けておられるお姿は特に心に残っています。また周りの方々を大切にされる人柄も尊敬させて頂いて来まして。

また長年にわたつて唯識を学ばれて「法は知識で聞くのではなく、我が身で聞く事」と教えて頂いた言葉は忘れる事が出来ません。今までのようにお会いする機会が減つてしまつたかもしれませんが別院でお会いする事を楽しんで

みにして居ります。

これからいろいろとご教示下さい。誠に有難う御座いました。(桑名別院婦人会 会計)



華立をする古川氏



私は桑名別院列座、法務員、別院書記と、古川さんとは18年、ともに仕事をさせていだき、公私にわたつて多くの事を教えられ、育てていただきました。

桑名別院も時代の流れの中で様々な面で変革を余儀なくされます。儀式というものも例外ではありません。しかし、その時に古川さんがいたからこそ、桑名別院の歴史を通して考えることができ、より良い形での模索をすることができたのではないかと思います。お陰で先人が大切に守つてこられた桑名別院の歴史は、今日においてもしっかりと根付いているのだと思います。

古川さん、長きにわたりありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひいたします。

(桑名組 西光寺 衆徒)



4月より、古川良心氏の後任として、佐々木大(ささきだい)が法務員に就任いたします。

古川さんの後任として、別院の法務員をつとめさせていただく伊賀組正崇寺の佐々木大と申します。精一杯つとめさせていただきますのでご指導のほど宜しくお願いします。

